

くりやま未来カフェ

自治体広報の最前線と栗山の情報発信のこれからを考える

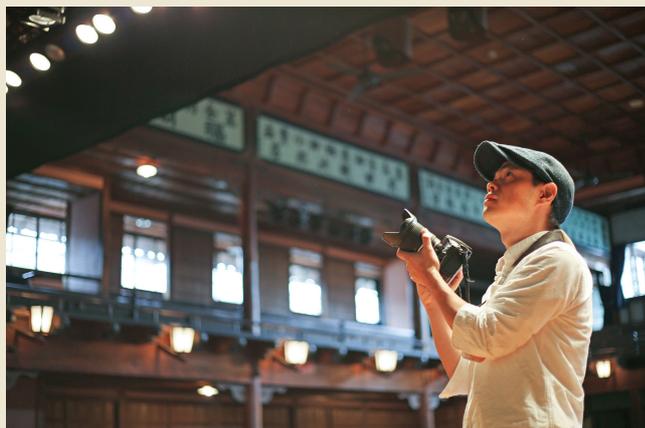
全国一にも輝いた愛媛県内子町の広報担当者から、自治体広報の最前線を学び町外の有識者と共に、栗山の広報紙や情報発信のこれからについてお話しします。ゆったりとした雰囲気の中で、コーヒーを飲みながら一緒に考えてみませんか？

6.4 日 13:30~16:30

場所：栗山煉瓦創庫 くりふと
(栗山町中央3丁目154番地1・駐車場18台有)

料金：500円 ドリンク、お菓子付き

定員：60名 当日受付も対応します



ゲストスピーカー 兵頭裕次さん

01 13:35~

キーノートスピーチ (基調講演)

あなたのまちの広報紙は
ふるさとの香りがしますか
～広報うちこと歩んだ10年～

10年間、愛媛県内子町で広報紙の第一線で活躍した兵頭裕次さんをお招きし、自治体広報の最前線をお話してもらいます。

02 14:50~

ブレイクタイム (休憩時間)

コーヒーなどの
ドリンクサービス有。
ホッとする時間をお過ごしください♪

03 15:15~

パネルディスカッション (公開討論会)

地域に必要とされる
自治体情報のこれから

自治体の政策や地域情報の執筆を専門とする識者を招き、パネルディスカッション（公開討論会）を行います。



コーヒー片手に栗山の未来を考えよう♪

パネリスト

兵頭裕次さん	愛媛県内子町前総務課広報・広聴係長
谷口雅春さん	ライター・エッセイスト
矢部育夫さん	株式会社きたリンク代表取締役
伊藤昂さん	栗山町総務課広報・防災・情報グループ主事

(申し込み方法)

- 1 電話 0123-76-7787 (栗山町ブランド推進課・地域おこし協力隊：望月)
- 2 FAX 0123-76-7782 (申込用紙は裏面にあります)
- 3 ネット申込 <https://forms.gle/epm3baEERV92FKdN8>

ネット申込
QRコード



Panelist



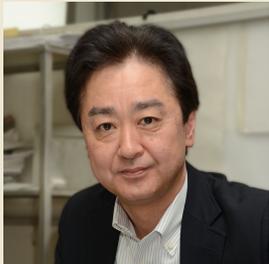
兵頭 裕次 愛媛県内子町前総務課広報・広聴係長

愛媛県西予市出身。2000年に内子町に入庁。建設デザイン課に配属し街並環境整備事業を担当。町並・地域振興課に異動後も同事業を担当し、町民との信頼関係を築きながら協働の町づくりを推進した。2013年、総務課広報・広聴係に異動し10年間、広報紙を担当。全国広報コンクールでは、最高賞となる「内閣総理大臣賞」を2年連続(2018年・2019年)で受賞するほか、特選4回を含めた入選11回、読売新聞社賞1回を受賞した。歴代担当者の思いや地域住民とのつながりを大切に広報紙を制作。今では、町民の多くが、「『広報うちこ』のためなら」と快く取材を受けてくれる。町民に愛される「ふるさとの香りがする広報紙」を作り続けている。



谷口 雅春 ライター・エッセイスト

札幌市生まれ。主に人物の間書ききや、北海道の歴史風土をテーマに活動。著書に「奇跡の音楽祭・札幌PMFの夏」(北海道新聞社)、「札幌アートウォーク」(同)、「大地の遺産・間書きき午来昌」(響文社)、編著に「ニセコパウダーヒストリー」(実業之日本社)、「『生れ出づる悩み』を読む 有島武郎と木田金次郎のクロスロード」(北海道新聞社)ほか。2019年、伊達市の開拓史を東北からの視線で編さんした『侍たちの北海道』(伊達150年物語の会)の構成・執筆を担当。北海道マガジン「カイ」(季刊Webマガジン)ライター。



矢部 育夫 株式会社きたリンク 代表取締役

旭川市生まれ。早稲田大学教育学部卒業後、北海道建設新聞に入社。編集局第1報道部次長、取締役企画部長などを経て、2020年5月退社。同年7月に建設産業を対象とした電子メディアの「きたリンク」を設立。建設産業の動向や地域づくり、人材育成に関するニュースを提供するほか、(公財)北海道市町村振興協会発行の「プラクティス」・「地域づくり事例集」の取材・編集を担当し、道内市町村の地域振興に必要な情報収集や資料整備に努める。取材・編集ほか、北海道建設業信用保証(株)70周年記念誌などの企業や団体の記念誌作成を担当した。



伊藤 昂 栗山町総務課広報・防災・情報グループ主事

札幌市生まれ。北海学園大学経済学部卒業後、2018年栗山町に入庁。3年間、教育委員会社会教育課で主に青少年関係、生涯学習事業を担当。2021年に総務課広報・防災・情報グループに配属となり、広報くりやま、町ホームページ、SNSなどを用いた情報発信業務を行う。現在は栗山町地域おこし協力隊(情報発信プランナー)と連携し、行政の情報発信体制の構築や町民に伝わる情報発信の手法を模索中。



モデレーター：望月 貴文 栗山町地域おこし協力隊・情報発信プランナー

札幌市生まれ。北海道庁に勤めた後、退職と同時に北海道大学公共政策大学院に進学。リカレント教育の最前線で政策学を学ぶ中、自治体の最前線に身を置きたいと考え2021年4月、栗山町に移住。町公式note「くりやまのおと」の起ち上げや、広報くりやまの特集掲載など担当。栗山に溢れる情報(音)を「書き留める・積み重ねる・継ぎ合わせる」ことを目的に、アナログ・デジタル両面から栗山の魅力を表現している。



司会：西村 さやか 栗山町地域おこし協力隊・情報発信プランナー

札幌市生まれ。生まれ育った札幌から2022年に自然豊かな暮らしを求めて栗山町へ移住。音楽家(所属ユニット：木箱、Rhythmy)としても活動しておりメジャーデビューの経歴もある。町公式Instagram「くりやまのおと」を担当するほか、長年の音楽活動で培ってきた様々な繋がりを生かし、栗山の魅力を発信中。

くりやまのおと



note



Instagram

くりやま未来カフェ参加申込書 FAX：0123-76-7782

ふりがな

氏名(必須)

電話番号(必須) () -

メールアドレス

@

お住いの地域(必須)：栗山町・その他 ()

年齢

性別